

平成 21 年度当初予算 重点的な取組別概要
< 重点事業 >

元気 4 : 国際競争力を高める産業集積の形成 (主担当部 : 農水商工部)

< 重点事業の目標 >

国際競争力の核となる先端的産業や高度な研究開発機能を県内に誘致するとともに、これらを支える中小企業の技術力や経営基盤の強化、ベンチャー活動の活性化をはかり、グローバルな競争を勝ち抜ける産業構造への転換を促していきます。

また、次代の県産業を担う新産業の育成に取り組むとともに、これらの産業を担う創造性豊かで多様な人材を育成し、新たなイノベーションの創出を促します。

これらに重点的に取り組むことで、知識集約型産業構造への転換を促し、三重県経済の競争力を高め、新たな産業や新事業が自律的に集積する地域づくりを進めていきます。

< 構成事業 (担当部) >

- (1) 知識集約型産業誘致促進補助事業 (農水商工部)
- (2) 技術提携促進型外資系企業誘致事業 (農水商工部)
- (3) 新しい産業用地整備促進事業 (農水商工部)
- (4) 先端産業育成事業 (農水商工部)
- (5) 産業クラスター形成事業 (農水商工部)
- (6) 四日市コンビナートアクションプログラム推進事業 (農水商工部)
- (7) ベンチャー企業創出促進事業 (農水商工部)

< 重点事業の事業費 >

(単位 : 千円)

| | H19 年度 | H20 年度 | H21 年度 | H22 年度 |
|-----------|-----------|-----------|-----------|---------|
| 策定時の見込額 1 | 2,320,426 | 2,192,000 | 1,012,000 | 532,000 |
| 予算額等 2 | 1,994,203 | 1,834,148 | 1,273,603 | |

1 第二次戦略計画策定時における計画記載額。

2 H19 年度は決算額、H20 年度は予算現額、H21 年度は予算要求額

< 重点事業の数値目標 >

| 目標項目 | | H18 年度 | H19 年度 | H20 年度 | H21 年度 | H22 年度 |
|------------------------|-----|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 先端的産業分野の製造品 出荷額の伸び率 | 目標値 | - | 106 (H18) | 120 (H19) | 126 (H20) | 132 (H21) |
| | 実績値 | 100 (H17) | 114 (H18) | | | |

三重県が集積をはかろうとする先端的産業分野 (バレー構想関連分野および新経済成長戦略に基づく「2010 年の新産業群」の関連分野) が属する産業分野 (電気・電子、石油化学、一般機械、輸送) の製造品出荷額の基準年 (平成 17 年度) を 100 とした場合の伸び率。平成 22 年度の目標値は、平成 23 年春に把握できる平成 21 年度の実績数値により測ることとします。

< 構成事業の目標 >

| 目標項目 | | H18 年度 | H19 年度 | H20 年度 | H21 年度 | H22 年度 |
|---|-----|--------|--------|--------|--------|--------|
| (1)県内への立地や増設を決定した先端的産業分野に属する事業所数(累計) | 目標値 | - | 5 事業所 | 10 事業所 | 15 事業所 | 20 事業所 |
| | 実績値 | - | 7 事業所 | | | |
| (2)県内企業との業務提携や立地に導いた外資系企業数(累計) | 目標値 | - | 1 社 | 8 社 | 10 社 | 12 社 |
| | 実績値 | - | 6 社 | | | |
| (3)紹介可能な「競争力のある産業用地整備」(累計) | 目標値 | - | 1 か所 | 4 か所 | 5 か所 | 6 か所 |
| | 実績値 | - | 3 か所 | | | |
| (4)水素エネルギー・メカトロロボット等先端産業の関連技術を活用した研究数(累計) | 目標値 | - | 49 件 | 55 件 | 57 件 | 59 件 |
| | 実績値 | 46 件 | 53 件 | | | |
| (5)産業クラスターへの参画企業数(累計) | 目標値 | - | 10 社 | 15 社 | 20 社 | 30 社 |
| | 実績値 | - | 10 社 | | | |
| (6)四日市コンビナートの構造転換に向けたアクションプログラム着手数(累計) | 目標値 | - | 18 件 | 21 件 | 25 件 | 28 件 |
| | 実績値 | 9 件 | 18 件 | | | |
| (7)インキュベーション施設入居者数(累計) | 目標値 | - | 61 者 | 72 者 | 85 者 | 100 者 |
| | 実績値 | 53 者 | 61 者 | | | |

< 進捗状況(現状と課題) >

- ・国際競争力の核となる先端的産業や高度な研究開発機能の誘致を進めるとともに、外資系企業と県内企業の技術交流をはかっています。
- ・平成 20 年度は、外資系企業誘致を促進するため、米国、ブラジルにおいて G N I セミナーを開催するとともに、ドイツ NRW (ノルトライン・ヴェストファーレン) 州の企業等(企業 15 社、その他 10 団体)を招へいし、県内企業とのビジネスマッチングを実施しました。
- ・三重県産業の次代を担う新産業の育成、ベンチャー企業等の発掘・支援や創造性豊かな人材の育成に取り組み、新たなイノベーションの創出をはかっています。
- ・今後も、成長産業の企業誘致、三重県の特徴を生かした知識集約型産業構造への転換、次代を担うベンチャー企業等の創出などを進める必要があります。

< 平成 21 年度の取組方向 >

バレー構想関連産業や、新経済成長戦略に基づく 2010 年の新産業である燃料電池、ロボット、情報家電に関連する企業等の誘致を進めます。

外資系企業の誘致や技術交流を図ってきた成果を踏まえ、これまでの取組をさらに強化することで、技術提携型の外資系企業誘致を促進していきます。

高付加価値製品を生み出す産業の育成や高度部材の産業クラスター形成に向けた産学官連携を推進します。

四日市コンビナートアクションプログラムに基づき、四日市市、地元産業界等と協働して、コンビナートの構造転換を促進します。

ベンチャー企業等を創出するため、研究開発などに対する支援を行うとともに、民間と連携したサポート体制により、成長段階に応じた総合的な支援を引き続き行います。

<主な事業>

(一部新) 三重の活力を高める企業誘致促進事業【基本事業名：23101 戦略的な企業誘致】

(事業(1)(2))

予算額：(20) 1,683,534千円 (21) 1,147,614千円

事業概要：バレー構想先端産業等立地促進補助金等を活用して企業誘致を推進するとともに、技術交流が進んできた欧州への経済ミッション派遣や、外資系企業に対する新たな支援策を講じることにより、外資系企業誘致を進めます。

(一部新) 先端産業育成事業【基本事業名：23102 新産業の創造】(事業(4))

予算額：(20) 48,563千円 (21) 38,956千円

事業概要：大学などの研究機関とのネットワーク強化を通じ、燃料電池関連技術をはじめとする先端的分野の研究開発を促進するとともに、蓄積された技術を県内企業の技術の高度化につなげていく新たなしくみづくりに取り組みます。

産業クラスター形成事業【基本事業名：23103 産業クラスターの形成】(事業(5))

予算額：(20) 4,248千円 (21) 1,881千円

事業概要：国の産業クラスター計画である「東海ものづくり創生プロジェクト」と連携した取組によりクラスター形成をめざしていくとともに、ネットワーク形成を推進するための産学官の研究会等を開催します。

四日市コンビナートアクションプログラム推進事業

【基本事業名：23106 四日市コンビナートの活性化】(事業(6))

予算額：(20) 6,131千円 (21) 2,281千円

事業概要：コンビナート企業や関係機関と協働し、四日市コンビナートアクションプログラムに基づく事業展開や新たな課題検討を行うとともに、環境に配慮した革新的な生産性等の向上をはかっていくためのセミナー等を開催します。

ベンチャー企業創出促進事業

【基本事業名：23104 戦略的なベンチャー企業の育成】(事業(7))

予算額：(20) 92,500千円 (21) 82,398千円

事業概要：起業家やベンチャー企業の発掘、育成、支援を進めるため、「研究開発」と「製品開発」のステージ別の補助制度や、産学との連携によるきめ細かなサポートの実施など、成長段階に応じた総合的な支援に取り組みます。